

平成 2 5 年

第 6 回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

平成25年第6回仙北市議会臨時会を招集したところ、議員の皆様にはご出席を賜り誠にありがとうございます。

先月の市長選挙で再び市政運営の責任者に着任しました。

議会の皆様、市民の皆様には一層のご指導とご協力をよろしくお願ひします。

今回も市政公約集を作成し、これを基本に選挙に望みました。第1に「これまでの4年間の反省と新たな決意」、第2に「これまでの4年間の取り組みの現状」、そして第3に「今後の4年間の4つの決意」です。どの項にも、これまでの4年間の職務経験から学び、今では自身の政治信条となった「守る・決める・創る」と言う言霊を添えました。先人より受け継いだ伝統と文化を次の世代に伝え、いかなる難題も先送りすることなく最良の判断を下し、住み続けたいまちづくりを創意工夫で実現する、そんな願いを込めたものです。

前任期で実現途上にある政策は、今任期でも引き続き達成に向け作業を継続します。その中で特に必要と感じた4項目は、

1. 産業振興や雇用対策を徹底し税収の確保を図る
2. 組織再編や庁舎一元化に取り組み行財政改革を断行する
3. 協働のまちづくりを進め民間への事業移転を加速する
4. 少子高齢や人口減少に歯止めをかける政策に着手する

です。結果的には無投票再選となりましたが、それ故にこれまで以上の重責を担った思いです。

この4つの項目には、さらに具体的な事業内容を掲げました。農業の高付加価値化や観光産業の世界基準化、国道46号・国道105号の改良促進などによる経済流通対策の促進、行政組織の再編と市民に寄り添う職員の育成、自然災害への対応力強化と自主防災組織の増加拡大、一体型庁舎に向けた条件整備、行政事務と事業の民間移転、地域運営体交付金の交付基準の明確化、病院建築と医師確保、スポーツ・文化施設や事業の充実、思い切った人口減少対策と高齢者の社会参加など、向こう4年間渾身の努力を傾注します。

続きまして、議会の皆様にご報告申し上げます。

#### ◇各種協定の締結について

9月24日、株式会社北都銀行と株式会社あきた食彩プロデュース、そして仙北市の三者で「仙北市成長戦略に関する協定」を締結しました。この協定は相互の人的・知的資源の活用と交流を図り、仙北市の経済成長に必要と認められる事業を行い、市民所得の向上を目的とするものです。

10月22日には、市と市内に所在する郵便局が、安心安全なまちづくりを目指すとともに、地域活性化のために連携強化を図り、相互に協力することを目的として「仙北市と仙北市内に所在する郵便局との災害時の対応及び平常時の高齢者等の見守り活動の相互協力に関する協定」を締結しました。

また、10月28日には、仙北市と株式会社ANA総合研究所間で、「地域協働協定」の締結を予定しています。これは観光振興の分野において、相互の人的・知的資源の活用と交流を図り、地域経済の活性化などに資する事業を行うことで、仙北市の観光振興を通して地域の活性化を図ることを目的とするものです。

協定締結に先立ち、株式会社ANA総合研究所とは、既に具体的な事業に取りかかっています。これは総務省の補助採択を受けた事業で、株式会社ANA総合研究所が10月から来年3月までの間、仙北市に人材を派遣し観光振興に関する受託事業を行うものです。市では、派遣された方を観光振興アドバイザーにも委嘱し、現在は観光課に常勤しながら業務を行っています。

さらに、10月29日には仙北市と秋田公立美術大学間で、産業・教育・文化・まちづくり等の分野において包括的な協力関係を構築し、地域社会の発展及び人材の育成並びに芸術・文化と産業の振興に寄与することを目的に、「仙北市と公立大学法人秋田公立美術大学との連携協力協定」を締結する予定です。

#### ◇「交通死亡事故ゼロ 365日」達成について

「交通死亡事故ゼロ 365日」を8月26日に達成し、9月11日に田沢湖庁舎で県警本部長からの顕彰状が仙北警察署の佐々木署長から伝達されました。仙北市が誕生してからは、平成20年5月23日に達成以来3度目となります。

当市は、国道46号、105号、341号と主要道路が3路線もあり、全国でも有数な観光地で、交通量が非常に多い環境の中での達成は非常に喜ばしいことです。

これも、ひとえに交通安全に関する関係機関及び各団体の御理解、御協力の賜と感謝を申し上げます。

今後も死亡事故ゼロが続くよう関係機関と協力しながら、交通安全に努めていきます。

#### ◇被災中小企業再建支援補助金について

先の定例会で予算を承認いただいた被災中小企業再建支援補助金については、8月9日の災害で被災され事業に必要な機械等を失った事業者に、できるだけ早く事業を再開し、生活基盤の立て直しを図っていただこうと、広報でお知らせするとともに、被災地域の対象となる2事業者を訪問し制度の説明等を行いました。

まもなく1事業者から申請があり、必要な工具類を購入する費用に対し、要綱の規定に基づき9月20日に50万円の支援を実施しています。

もうひとかたの事業者についても、現在申請の準備を進めているところです。

#### ◇秋田スギバイオエネルギーセンターの検証について

本施設の稼働状況検証作業は、2回目の検証委員会を7月27・28日に現地（仙北市）で開催することで内諾を得ていましたが、委員の方々の日程がなかなか整わず、委員の先生方の都合に合わせてながら現地検証委員会を終えています。

今後は、現地検証を踏まえての作業を行うこととし、3回目の検証委員会は、今月27日に東京で開催することで準備を進めています。

#### ◇大規模肉用牛肥育団地整備事業の進捗状況について

本事業については6月から建築工事に入り、12月の完成を目指し工事中です。

2号牛舎は9月20日に完成し、23日に施設見学会を開催したところ、地域の方々約30人が訪れていただきました。

また、これまで飼育準備されてきた交雑種200頭が、9月末までに搬入されたほか、10月のあきた総合家畜市場で、黒毛和種の子牛約30頭を購入し、今後も定期的に購入することとし、開業に向けて準備を進めています。

#### ◇水稲の作況状況について

東北農政局9月27日発表、9月15日現在の水稲作柄は、全もみ数は、「やや少ない」となったものの、出穂期以降はおおむね気温が平年を上回って経過し、登熟（開花、受精から成熟期までの子実の肥大、充実）が「やや良」の作況指数99と見込まれるとなっています。

10月21日には、9月末現在の作柄が、秋田県の1等米比率は昨年同期に比べ7.9ポイント上昇の95.7%と発表されました。

仙北市においては、同じく21日現在のJA情報として、刈り取り作業は角館、西木、田沢湖各地区とも99%以上でほぼ終了、1等米比率は、各地区とも98%以上で非常に高い品質を確保、収量は、圃場によって平年並みから5%減までと、地域的なバラつきは見られますが、全体的に見ると前年比やや減収となっています。

#### ◇市立角館総合病院改築事業について

市立角館総合病院改築事業基本設計業務について、10月1日に、仙北市病院事業構想・市立角館総合病院基本設計策定委員会（委員長：近藤克幸秋田大学教授）からの「新病院建築基本設計に関する

最終報告書」を添えた「新病院基本設計業務計画説明書」の提出を受けました。

現在、実施設計業務、建設に関する各種許認可に関する申請、届出業務を進め、用地買収等を行います。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げます。

今臨時会で審議をお願いする案件は、専決処分関係 2 件、補正予算関係 1 件、人事関係 1 件の計 4 件です。

慎重審議のうえ、全議案についてご可決賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。